

**平成27年度  
第1回藤島地域振興懇談会  
会議録(概要)**

期 日：平成27年7月3日(金)

場 所：鶴岡市藤島庁舎2階

202・203号会議室

## 第1回藤島地域振興懇談会会議録（概要）

○日 時 平成27年7月3日(金) 午前10時～11時45分

○会 場 鶴岡市藤島庁舎2階 202・203号会議室

○出席委員（五十音順） 10名

上田実、上野隆一、奥山康光、佐藤耕喜、佐藤二美、高山千代子、田中壽一、富樫達喜、  
富樫正明、丸山克夫

○欠席委員 5名

五十嵐笑智子、小野寺菊子、澁谷晃、鈴木紀生、相馬大

○市側出席職員

〈藤島庁舎〉 支所長 佐藤正規、総務企画課長 丸山隆逸、市民福祉課長 叶野明美、  
産業課長 東海林良哉、東部建設事務室長 太田実、  
総務企画課課長補佐 井上克浩、総務企画課総務地域振興専門員 鈴木理恵、

〈本所〉 企画部地域振興課地域振興専門員 齋藤芳

○傍聴者 なし

○次 第

1 開 会

2 委嘱状交付

3 あいさつ

4 会長、副会長の選出について

5 説 明

(1) 鶴岡市地域振興懇談会設置要綱について

(2) 平成27年度予算の概要及び主な事業の概要について

(3) 平成27年度藤島地域主要事業について

6 協 議

(1) 藤島地域振興計画について

(2) 地域課題、地域活性化全般に関する事項について

(3) その他

7 閉 会

## 【会議の概要】

- 1、開 会 (丸山総務企画課長)
- 2、委嘱状交付 (佐藤藤島庁舎支所長)
- 3、あいさつ (佐藤藤島庁舎支所長)
- 4、会長、副会長の選出について

会長 上野隆一、副会長 富樫達喜

上野会長、富樫副会長のあいさつ

その後、出席者自己紹介

## 5、説 明

### (1) 鶴岡市地域振興懇談会設置要綱について

－ 総務企画課長 資料1により説明 －

### (2) 平成27年度予算の概要及び主な事業の概要について

－ 総務企画課長 予算特集号、資料2により説明 －

### (3) 平成27年度藤島地域主要事業について

－ 各担当課長 資料3により説明 －

○上野隆一会長 ただ今3つの項目について説明をいただきました。これに対し質問、意見、要望等ありましたら出していただきたいと思います。決まったことであっても来年度以降参考になることもあるかと思えます。忌憚のないご意見等いただきたいと思います。

○富樫正明委員 消防施設整備事業の予算について、小型ポンプ1台分ということでしたが、例年2、3台分予算があったと思うのですが、今年は1台なんですか。

○丸山総務企画課長 予算は消防の予算となりますが、1台分の予算を確保しているとのことでした。

○富樫正明委員 決定ではないということですか。

○丸山総務企画課長 今年度資料の額で、どこに配置とは決まっていますが、1台分ということです。

○富樫正明委員 ポンプ車庫棟の建て替えの予算などが入っていないのですが。

○丸山総務企画課長 その分は別にあるということです。

○富樫正明委員 わかりました。

○富樫達喜委員 歴史公園についてですが、姿が見えてきたのでいろんな意見がでてきているのは事実な訳です。見応えのある藤棚ができるということで相当な大木を植栽するのだろうと期待していたのですが、いつになってもその大木は見えないので今年は植栽やめたのかと思いきや、よく見てみると植栽してあった。あのままで大きくなるのを待つのか。

○太田東部建設事務室長 基本的には今年植えたものが大きくなるのを待つということです。もともと少なくとも1本は今年度中に植えることにはしていたのですが、平成27年度の予算にいくらか余裕がありますので現在4本植えてある30メートル四方の大藤棚に、将来シンボルツリーとなる藤を1本ないし2本植える計画をしております。追加して植える藤の選定に当たっては、どういった木をシンボルツリーとするのか、維持管理のアドバイザーはどうするか、を含めまして関係団体と協

議しながら進めていきたいと考えています。

**○田中壽一委員** ふじの花まつりの実行委員長として、藤の植栽について要望を出していたところですが、やはりこの藤島地域においては歴史公園を核にしながら地域活性化できればと地域住民が望んできたことでありますので、ぜひ、住民の方々の要望に応じていただければありがたいと思います。この間ふじの花まつりの反省会をしたところ、様々なご意見を頂戴したところです。今、歴史公園に植栽された藤は見ごろになるまでには数年かかるということなので、すぐ咲く藤の導入や、かなりの年数が経って混んできている藤ロード、駅前広場、藤島体育館の藤を歴史公園に移しかえることができないのかということの声もありました。混み合っていてあまり良くないというような話もありましたので、ぜひ、間引きして大きな藤の花をつくるような環境づくりをしていただければと思います。また、富樫委員、太田室長のはなしにあった、いわゆるメインシンボルとなる花ということで、当初は3尺藤という計画のようでしたけども、観光協会としては9尺藤を植栽していただきたいということをお願いしたいと思います。それから、駅前の森さんが自ら骨を折ってめずらしい藤の花を自宅に植え、公園ができたならそれを活用してもらおうとわざわざとっておいてくれたとお聞きしておりますし、地蔵様もあると聞いています。個人的に努力している方もいらっしゃいますので、そのへんもぜひ協力していただくようお願いできればと思います。

**○上野隆一会長** ただ今の件について回答をお願いします。

**○太田東部建設事務室長** まず、街路樹や藤島体育館グランドゴルフ場の藤の移設は物理的には可能だと思いますが、あの位大きいものを移設してもいいものかは、やはり専門家に相談しながらとなります。歴史公園の大藤棚には野田長藤の9尺藤をシンボルツリーとして植える予定です。歴史公園には東側に白藤、西側に八重黒龍藤、ふじロードのわきにトンネル状になっている棚は野田紅藤、スクリーン型に白藤を植えております。ですから、移設するにしましてもレイアウトを考慮する必要があると思います。特に、藤ロードの藤につきましては、相当混み合っています。体育館前から西側方向の市道藤島早田線にも藤棚が少しあるので、そこに施設できるかもしれません。ほかの場所も含めて考えていければと思っています。

森さんの藤については、歴史公園をつくる際にご寄付をいただいて移設しています。お地蔵さまはわからないのですが、藤そのものは公園の西側にあります。

**○田中壽一委員** 森さんの藤が移設できたのはよかった。グランドゴルフ場の藤、移設するならどこにするのかということだったが国道345号小中島の交差点の改良区さんの水路のわき、あそこがふじの花まつりのウォーキングコースということで景観、ふじの花があれば最高いいのではないかという話もありましたので、検討いただければと思います。あと、藤の花だけでは観光客誘致できるのは半月くらいしかないので、年間を通じてなにかできることを考えていただくようお願いいたします。

**○上野隆一会長** まだ報告事項で協議にはいつていないのですが、どうしてもこれだけ聞きたいという方あれば。

○高山千代子委員 歴史公園の関係で、今年はふじの花まつりを体育館でしました。将来的には歴史公園であるという方向もあるのでしょうか。

○佐藤藤島支所長 藤島地域にとって藤の花をメインにした重要な公園がオープンするということなので、当然観光協会さんと相談ということになりますけども、高山委員からお話しあったように公園で開催する事も、今後検討されるべきものだと思っています。ただ、雨天の場合の鉢の展示場所などいろいろなことがありますので、観光協会さんを中心として今後ふじの花まつり実行委員会で検討されるべきものであろうと思っています。

○高山千代子委員 図面をみせてもらったときに舞台がどこにもないと感じたものですから。ふじの花まつりやるときも、その時設置できる舞台も今後していただければと思います。

○佐藤藤島支所長 いろんな活用の仕方があり、公園に対する想いも様々です。今後そういった声をどのようにいかしていくか十分検討しなければならないと思います。仮設のステージを造るとか、将来的にどのように活かしていくかは、今後関係機関と検討していきたいと思っています。

○太田東部建設事務室長 一年を通じた花のリレーについて、八重桜、河津桜をご寄付いただき植栽してありますので、春には桜が咲きます。その後に藤が咲き、その後に花ミズキと考えています。あと庄内農業高校さんで花壇やプランターに花を植えています。これから何年かかけて、地域としてどんな公園にしたいか、思いをまとめそれに合わせた植栽等を進めていきたいと考えております。

○上野隆一会長 協議にはいります。説明をお願いします。

## 6、協 議

### (1) 藤島地域振興計画について

— 総務企画課長補佐 資料4より説明 —

○上野隆一会長 振興計画についてご意見等をお願いします。

○富樫達喜委員 7ページの「米作りがさかんな庄内農業の中心である藤島の情報発信」、自治体としての認証機関というのはものすごくインパクトがあった。これが今やらなくなったということで意識が低くなってきたのかなと感じるが、将来、市としての認証機関はやめるのか。

○東海林産業課長 やめるとはいいません。

○富樫達喜委員 県の方に全部移管するという事なのか、市として復活していくのか。

○東海林産業課長 藤島庁舎としてはここに残すというスタンスでいます。

○富樫達喜委員 わかりました。

○井上総務企画課長補佐 今庁舎でやっているのが、有機栽培と鶴岡Ⅰ型（藤島型）、Ⅱ型と呼ばれる市独自認証の特別栽培米が中心です。特別栽培の面積がどんどん増えてきた関係もあって、県のセンターのほうに移された経過です。

○佐藤耕喜委員 今の件で、藤島型といわれる栽培をしている方はどれくらいありますか。藤島型はまるっきり有機農業な訳です。

○東海林産業課長 後でお知らせします。

○奥山康光委員 この間、東北農政局や県農林部長からお話し聞いたら、今年も過剰在庫で米値段が今のままだと下がるとのこと。この辺だと土地利用型作物として大豆の栽培面積が多い訳ですが、ぜひ、施設園芸や野菜栽培に多くの農家が取り組むことによって、基幹産業である農業の復活の道筋を切り開けないかと考えています。米だけでは食べていけないのが実情になってきているので、そういった施策とっていただきたいと考えています。ちなみに庄内町だとハウスを建てるのに、県の事業とあわせて75パーセントの補助があり、三川町でもそれ同等の補助を出していると思いますので、鶴岡市としてもそういった後押しをお願いしたいなと考えています。

○佐藤二美委員 2つほど意見述べさせていただきます。一つですが、東田川文化記念館と歴史公園隣接していて、公園と記念館の行事をタイアップして利用するような形もいいのではないかなと。前に、文化記念館の明治ホールの活動委員していましたけども、野外での音楽イベント、そんな事業があってもいいのかなと思います。藤が大藤になるまで最低5年位はかかるということですので、それまでいろんなことをしながら、藤の成長を楽しみに待つわけですので、その間やっぱりまた他のいろんなものを取り込んで、あの場所を活かして、みなさんで楽しく過ごせる場所になればいいのかなというふうに思っております。もう一つは庄内農業高校と地域との連携推進事業の内容なんですが、地域の住民の方々といろいろな面で、いろんな行事で、庄農の演劇部のみなさんが公演してくれたり、非常に密着した活動をしているのかなと思います。庄内農業高校の生徒さんの未来がもっと明るく、今より明るく見えるような、鶴岡に行けば山大農学部もありますし、いろんな意味でつながりを持ち、農業の将来性を描くことができるような内容があってもいいのかなと思います。若い人がもっと元気になれるような、未来が見えるような、そんな行事も、いろんな面から探っていってやっていただけたらいいのかなと思います。

○上野隆一会長 庄内農業高校と山形大学の関係は事務局にお聞きしてもわからないと思いますけど、歴史公園と東田川文化記念館のかかわりについては考えがあれば回答できますか。

○丸山総務企画課長 今回の藤島歴史公園の名称のごとく、記念館を含めたエリアでの公園という位置づけでありますので、具体的には今後いろいろ情報を共有しながら、例えば藤のイベントを考えた場合は、記念館との会場の役割分担とかそういったこともあろうかと思えます。具体的な部分はこ

れからの計画づくりになりますけども、いずれにしても記念館とは協議をして、進めていきたいと思っています。

○丸山克夫委員 さきほど奥山委員さん言われましたけど、農業を基幹産業とするということはいいと思えますけども、ただ、どうしたら基幹産業としてやっていけるのか、農家でないものだからちょっとわからない。それから、歴史公園とか記念館とかそれで人を呼び込むとか考えているようですが、その他に見るところがない。ふじの花まつりで駐車場整理やっていたんですが、今年は残念ながら時期がずれて花終わったと。他から来た方に声かけられたんだけど、「他に見るところないか」と聞かれたが返答のしようがなかった。ただ通過するだけでなく、おみやげもあるし、特別な食文化とか一生懸命やってるわけですから、藤島でも独特なものをつくって盛り上げたらいいんじゃないかと思えます。ただ通過する、一時間くらいみて帰りましたというより、半日、一日いて、来たついでにおみやげ買って、おいしいもの食べてということが藤島には無いなと思えます。

○上野隆一会長 ただいまの丸山委員からおもしろいお話がありました。事務局だけでなくみなさん方からもこれをこうした方がいいとかあれば。

○佐藤二美委員 藤島には、とってもおいしいお菓子屋さんもいっぱいあるし、いろんなところで藤島のお菓子やいろんなものいいよね、と言われるんですが、どこに行けば求められるかわからないと。一か所に集まっている施設がないので、一軒一軒行くのが大変。商工会とか、楽々がいいのかわからないですけど、一か所に集まっているところがあれば、そんなに大きくなっていいので、藤島のものが見えるところ、藤島全体のものが、お米だけでなく、あそこにいけばあるよというところがあれば説明しやすいのですが。そんな所、立ち寄れる場所、食が楽しめる場所があったらいいなと思うのですが。

○上野隆一会長 確かに、庁舎側からの説明というのは商売というか、お金の観点が抜けているので、それがいいことには 画竜点睛を欠く ということか、ピンぼけなものになってしまう感じがある。

○田中壽一委員 関連して、丸山委員から、藤の花は終わって見るところがない、おみやげはどうだという話し、佐藤委員からもお菓子屋さんの話し出しました。今から3年位前、つや姫会で、藤島にあるお菓子屋さん全店からつや姫の米粉を使ったお菓子を作っていただきました。今も作っていますし、つや姫発祥の地をPRするお菓子はできています。飲食店についても、つや姫を使っていたきたいということで、県からのぼり旗をもらってPRしておりますが、つや姫だと割高だということで、予約の弁当などは提供しているようですが、なかなか浸透しない。私、つや姫会の会長としては、藤島にすれば、つや姫のごはんが食べれるんだ、ということをお願いしていたんですけども現実にはなかなか厳しかったということです。継続はしています。

○高山千代子委員 飲食店、お菓子屋さん、それからどこに行ったら藤が見られるのか、歴史公園以外でも、もっといっぱい藤見れるところあるので、一目瞭然でわかるマップをいろんなところに置いたらいいと思うんですけど。新たに歴史公園ができて新しく作成すると思えますので、その時に飲食

店やお菓子屋さんの情報も含めて作れば、おみやげ買うにしても食事していくにしても、他から来た方にわかるように親切なものがあればと思います。

○上野隆一会長 時間もありませんので、次にすすみます。

## (2) 地域課題、地域活性化全般に関する事項について

○丸山総務企画課長 これについては、資料はございません。先ほど、地域振興計画の説明のあとに、委員のみなさんから意見等いただいておりますので、意見そのものが地域課題につながっていくと思いますので継続してご意見をいただきたいと思います。

○上野隆一会長 (1) の地域振興計画にかかわらず、範囲を広げてご意見いただければ。

○上田実委員 2つほど。1つは敬老会のことです。長沼地区では6月21日に敬老会122名の参加でやったのですが、その際来賓の方のごあいさつの中で、今一人あたり2,400円の補助があるのだけど、来年度以降一気に半額になりそうだよという話がありました。そういう話あるのかお聞かせ願いたい。

もう1つ、我々日帰りバスツアーとか大好きです。藤島に庄交トラベルの事務所もあるので、歴史公園をメインにした日帰りツアー計画できないかと。たいしたことないところでも、行ってみると以外といいなあとと思うところがあるんです。小さなイベントで最初はバス1台も来なかったが、今は60台も来るところがある。歴史公園をメインに3日間くらいのイベントを組んで、お菓子屋さん巡ったり食事したり、いろいろツアーを組んでみるのは、我々のように時間に余裕のある人は、一生懸命ネットで情報見ている、何かいいものないか探しているんです。そういう企画もすすめることであればいいのではないかと。以上です。

○上野隆一会長 2つ目は難しいので、敬老会について回答してください。

○叶野市民福祉課長 敬老会について、上田委員からのお話のとおり鶴岡を含めて6地域、いちばん高いのが藤島地域で2,400円、いちばん安い地域で1,100円、温海と鶴岡が、1,100円です。このくらいの差があり、同じ鶴岡市の75歳以上の敬老会に対する補助金であって、これはいかなものか、という話しは事実でしております。これを何年でどうするという話しはまだ具体的には決定しておりません。どなたかが話し合いされて出てきたお話しではありますが、市民福祉課としても担当者としても、これをどのように調整するのか、例えば同じにするとすればどこを設定目標にするのか等まだ定まっておきませんので、協議中、検討中ということでご報告させていただきます。ただ、鶴岡は参加率がとても高く51.7%です。ほかのところだと27%くらいです。それだけ皆さん楽しみにきてくださるということで、藤島でもアピールしていきたいと思っています。

○上田実委員 来年度も実行委員長なので、まずはよかったです。



○丸山克夫委員 地域振興計画をみると「情報発信をします」という文章がいっぱい出てきます。実際にどのように情報発信しているのかわかりませんが、もっとプロを使うとかお金をかけた情報発信に努めたらいいと思うのですがどうでしょうか。

○佐藤藤島支所長 今現在は市の広報、ホームページ、今年からフェイスブックという形で情報発信をしています。できるだけ若者が使っているツールを使いながら、いかに情報発信できるかが非常に重要なポイントだろうと思います。私どもで把握していない情報発信の手段があると思いますので、そういったことも教えていただければ、できるものから考えていきたいと思います。

○丸山克夫委員 鶴岡市民に対しては、広報とかでいろんな情報伝わるかと思いますが、外に向けての発信のしかた、そこをもっと積極的にやってもらえたらと思います。

○奥山康光委員 藤島地域懇談会ということなので、父親という立場からお話したいのですが、私まだ小さい子供いて、例えば母親が仕事だというときに子守をすると、遊ぶところに非常に困るんです。晴れていれば、三井病院の近くの公園に連れていったり、雨降ったら遊佐の子供を遊ばせる施設に連れていったりするんですが、近場で連れて行くところがあればとてもいいなと思っていて、子供たちが集まるということは親も当然集まるので、そういった遊具のあるところ、藤島歴史公園でもいいですし、芝生公園でもいいので、そういったところに大勢で遊べるような遊具があると、藤島に人を呼ぶことができるのかなと考えていますので、要望半分、意見半分で申し上げます。

○上野隆一会長 藤島体育館は藤島地域外からも結構きている。あれを一つの成功事例と考えれば、もう一つくらいあってもいい。市では考えていますか。

○奥山康光委員 三井病院の近くの公園はいつ行ってもすごくいっぱいいる。あの人数といわないまでも相当の父親、母親を連れてこれるので、そうしたら帰りお菓子屋さんに寄ってみるとかそういった話につながる。歴史公園だけみると、フジの花が咲くころは人がくるのかもしれないけど、そのあとの時期って人どうやって呼ぶのかなというのが不思議で、そこに遊具なんかがあれば、子供連れて行くかということになるだろうと思います。

○丸山総務企画課長 子供の遊ぶ場所の遊具、公園の話ですが、私は孫が来たときは最寄りの公園を利用しています。各地区単位でそれなりの都市公園、農村公園あるものですから、身近なところを十分活用しながら。あと一番喜ぶのは、何もない芝生広場で、ボールひとつあると自由に遊んでいるようです。雨天の場合は、まんまルーム、ああいったところも活用しながら。三井病院の近くの公園のあのボリュームはなかなか、ああいったところを新たにつくるのはたいへんですから、既存のものを情報得ながら活用していくことかなと、個人的には思っています。

○奥山康光委員 結局、中途半端なものあっても親は子供が飽きてしまうので連れて行かない。遊具がいっぱいあるところに連れていくということになるわけです。

○上野隆一会長 ほかにあればお願いします。今後の活性策について何かありませんか。

○富樫達喜委員 今日の資料にはないのですが、最近の話題として18歳からの選挙権ということ興味持っています。選挙権を与えることによって、何らかの目覚めを誘っている。こういう会にも若い方がどんでん返りするような道も開いていくのがいいな、できればいいな、そんな思いもあります。そのへんのことでも考えてみたらいかかかと思っています。

○上野隆一会長 今回平成29年3月まででしたね、我々の任期。これ終わったらがらっとメンバー替えてしまうとかも、一つの方法かもしれません。

(3) その他 事務局では特に用意はありません。

○上野隆一会長 みなさんから何かあれば。

○太田東部建設事務室長 今週の日曜日、7月5日ですが「きれいな川で住みよいふるさと運動」というのを県と市町村でやっています。ご協力のお願いということで、お知らせです。最寄の川で参加いただければ幸いです。

○上野隆一会長 これで第1回目の懇談会、議事を終了します。ご協力ありがとうございました。

7、閉 会 (丸山総務企画課長) 本日は貴重なご意見等ありがとうございます。本日の会議録はみなさんから一度確認をしていただき、ホームページに掲載となりますのでよろしくをお願いします。また、今日いただきました意見、次回の10月の開催予定でありますけども、今後のすすめ方など整理しながら次回の開催にむけて準備していきたいと思えます。以上をもちまして、第1回目の藤島地域懇談会を終了いたします。ありがとうございました。